

# 教育文化部会 会議録

（出席者） 委員：10名  
 事務局：4名（戦略部会員：3名、政策推進課：1名）  
 アドバイザー：1名  
 ファシリテーター：1名

（会議の内容）

## 1. はじめに

資料1に基づき、第5回まちづくり市民会議（第4回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

資料2に基づき、第6回まちづくり市民会議の検討の進め方について事務局から説明しました。

## 2. 「市民協働モデル事業」の選定

資料2に基づき、「市民協働モデル事業」の内容を事務局から説明しました。

説明された「市民協働モデル事業」について、良いと思った事業に対して意見の発表がありました。

出された意見に対し、シールを使った投票方式で、「市民協働モデル事業」を決定しました。

■投票結果（赤シール：第1希望、5点換算、黄シール：第2希望、3点換算）

市民協働プロジェクト 名称	赤シール	黄シール	合計点数
①図書館運営事業（元気はいたつ便）	2	6	28
②文化財保護事業（わがまちマップ）	4	1	23
③生涯隔週推進事業	0	2	6
④開かれた学校づくり	7	3	44

## 3. グループワーク

決定された「市民協働モデル事業」について、2グループに分かれてKJ法によるグループワークを行いました。

■メンバー

	グループ1	グループ2
委員	彦坂委員、鈴木（博）委員、山田委員、金子委員	鈴木（海）委員、横田委員、鈴木（敏）委員、片山委員、宮内委員、高木委員、加島アドバイザー
事務局	河邊、行田、江口（JP総研）	土井、小塚

#### **4. アドバイザー総括（加島アドバイザー）**

今回の課題は、さらなる発展や先まで見通しを考えるような点があり難しいものだった。これをやりたい、教えたいというのは具体的に出てくるが、それを実際に行うときの手立てやそれを継続してやるためにはどうしたらいいかなど難しい課題だった。しかし「コーディネーターを育成し、それを継続していくことは必ず必要である」というような視点が出てきたのはよいことだと思った。

学校は学校でまわっているのだから、そこに地域がどう関わっていくかという難しさがある。あるいは、学校側が地域に向けて開きたいと思っても、最近では危ないことが多くて開けないというようなことも多々見受けられる。しかし、地域の人々が積極的に関わっていくことによって、学校を開けないということが、もしかしたらなくなってしまうかもしれない。今回の討論は、理想論に近いのかもしれないが、可能性が見えるような話し合いになったと思う。

#### **5. その他**

次回開催日程は、8月20日（月）18：45からに決定しました。各委員に、ふり返しシートを配布し、会議後1週間を期限に、提出をお願いしました。

グループ1

市民・地域・団体

行政の支援

1 きっかけづくり

卒業生でも学校とつながることができるようにする。(会費などを用いて?)六連の例あり

今まで以上に、学校と地域(市民館や自治会等)のつながりを強化する

学校と地域を知ろう!!

【童浦小学校区】 笠山の街全体でお祭り(子どもと地域の交流ができる)	学校行事に参加する機会をつくる	学校の様子を知るための新聞等を配布	学校行事への一般見学参加
---------------------------------------	-----------------	-------------------	--------------

どんな協力ができる?

【子ども会】 ・子どもリーダーの育成 ・遊び(キャンプ)の手伝い	ボランティアの指導でわら細工や竹細工づくり	伝統芸能の伝承等	民話等のお話会を開催	【ボランティア募集】 ・読み聞かせ ・昔ながらの遊び ・演奏会 etc	掃除を一緒にする	ボランティア保険等へ支援
----------------------------------------	-----------------------	----------	------------	----------------------------------------------	----------	--------------

2 しくみづくり

ともに活動しよう!!

地域で登録ボランティア制度を設ける(特技、文化団体など)	学校サイドに任せず、計画づくり参加する	
コーディネーターによる意見交換・仲介・アドバイス	学校サポーター組織等を組織化	地域の老人会に協力を仰ぐ

より深い理解とスキルアップ

ボランティアの方への学習機会の提供	ボランティアの活動紹介や顕彰	
ボランティアの活動発表	広報でとりあげる	良い取組みを全市にひろげる

3 継続のために

4 活動のさらなる発展

全ての活動を地域に活かす

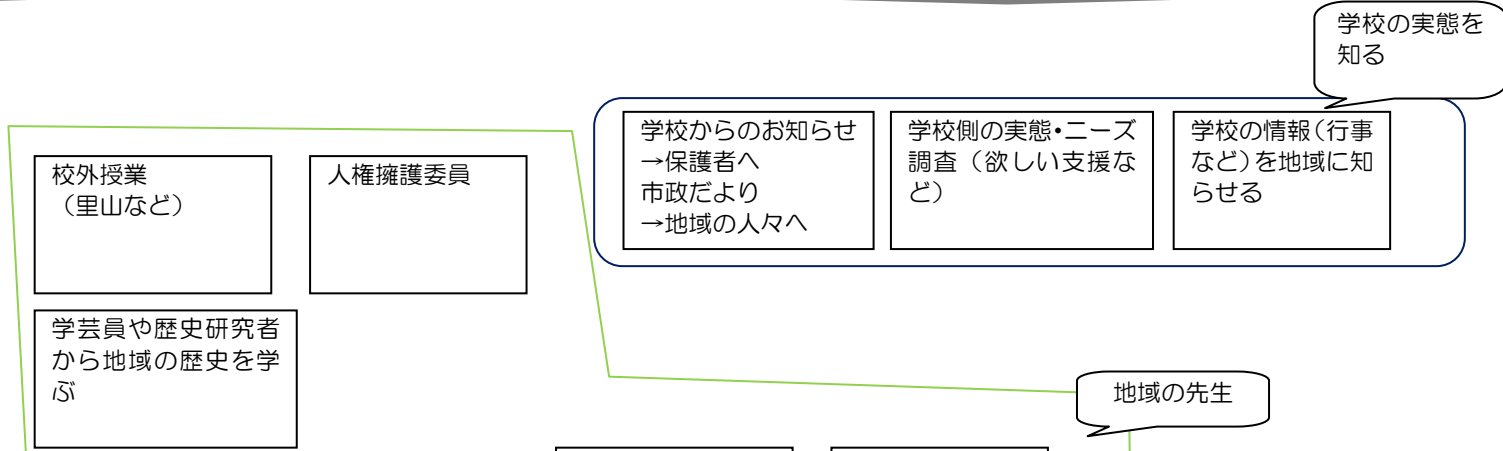
生活・学習・文化の支援が全てにつながる	地域の全ての子ども達が集まる場所
---------------------	------------------

グループ2

市民・地域・団体

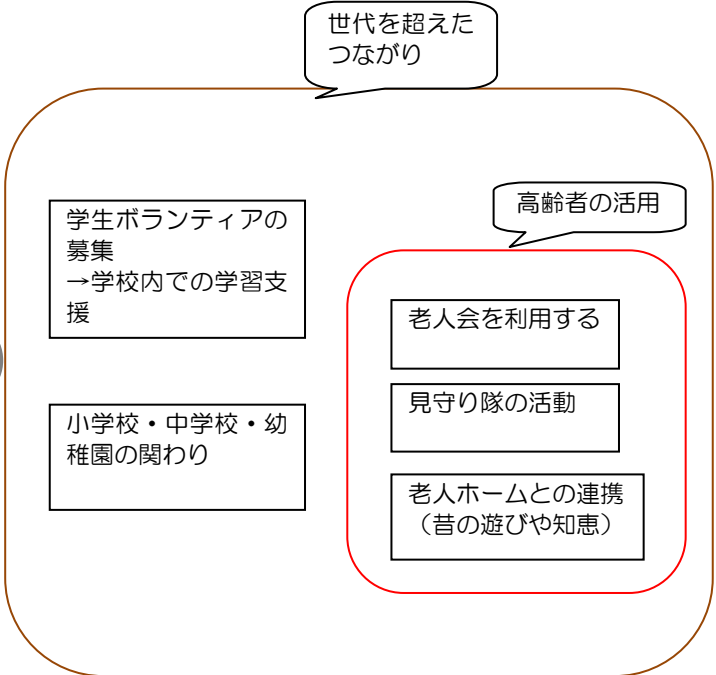
行政の支援

1 きっかけづくり

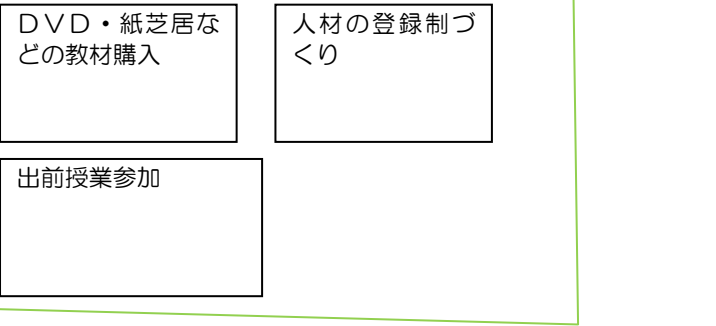
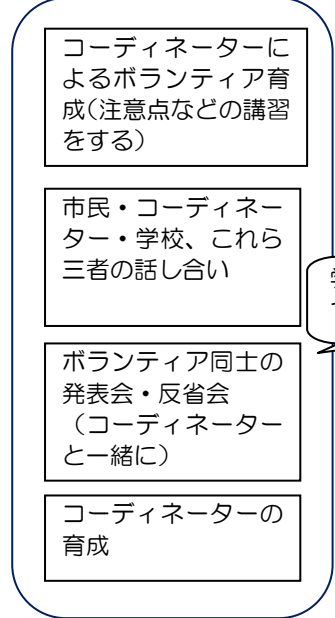


2 しくみづくり

【不登校対策】  
家庭（PTA委員）  
地域（民生児童委員）  
も入れた対策委員会



3 継続のために



学校と地域をつなぐ～絆～

4 活動のさらなる発展

